

〈マンガで理解する〉 融資先の「資金繰り」の 重要性と悪化要因

画／大石容子

本稿では融資先にとって重要な「資金繰り」とは一体どういうことか、その悪化原因とは何か——マンガで解説します。

理解しやすいように
実例で考えていこう
10月の
クロアカ商事の売上は
500万円とあるね

現金
入金
支払い
現金が足りない…
借入れ

資金繰りとは
予定される現金の
支払いや入金を
把握して
現金が足りなくなれば
借入金などで
賄う
こうした
現金管理を指すんだ

現金ですか…

でも
ここでよく
考えてみて！

クロアカ商事の
月商は
平均500万円
ですから…
いつもどおりです

企業は
売上があっても
その売上金額どおりに
現金が入って
くるとは限らない

売掛金や
受取手形という形で
受け取ることも
ありますね…

うん
そのとおりだ

あ！

うん どうして だろう？

田中くん どうしたの？

実は担当先の
クロアカ商事から
『緊急で短期資金が
必要になるかも』と
言われたんです

でも決算書や
試算表では
売上が下がって
いるわけではないのに
なんで急に
資金が必要になったのか？

あっ 山形先輩

「資金繰り」ですか？

融資担当1年目の
田中くんには
まだそこまで
考える余裕が
ないかな

ひよっとしたらクロアカ商事は
「資金繰り」に
困っているのかもしれないな